

各位

全2ページ
登録速報(2023-070)
2023年 2月 8日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部 普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。
適用拡大登録年月日：2023年2月8日

記

1. 農薬の登録番号及び名称
登録番号：第22346号
名称：クミアイペンコゼブ水和剤

2. 変更の内容
農薬登録申請書第7項を次のとおり変更する。

- ・作物「おうとう」を追加する。

【変更後】（追加する作物のみ抜粋）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む農薬の総使用回数
<u>おうとう</u>	灰星病	600倍	200～700L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容第8項に(6)を追加し、以下を繰り下げ別紙【変更後】のとおりとする。

【変更後】

- (6) おうとうに使用する場合、果実肥大期以降の散布は果実に汚れを生じるおそれがあるので注意すること。

別紙

8. 使用上の注意事項

【変更後】

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) てんさいに対して希釈倍数125倍、ばれいしょに対して希釈倍数100倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- 3) 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合には、次の事項に注意すること。
 - ① 内袋は、ぬれた手で触れないこと。
 - ② 外袋の開封後は、一度に使いきることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使いきること。
 - ③ 薬液の調製は容器内に所定量の水の3分の1入れた後、必要量の内袋を開封せずにそのまま容器内に投入すること。その後、よく攪拌しながら容器内に水を定量まで加えること。
- 4) 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけること。
- 5) マンゴーに使用する場合、果実に汚れを生じるおそれがあるので着色期以降の散布はさけること。
- 6) おうとうに使用する場合、果実肥大期以降の散布は果実に汚れを生じるおそれがあるので注意すること。
- 7) ボルドー液との7日以内の近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- 8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 9) 極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に薬害のおそれがあるので注意すること。
- 10) 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- 11) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上